

「革命の力」というタイトルの下に隠れた  
た(フィデリオ)から(9月27日、ベートー  
ヴェンハレ)



## Revolutionary Strength in Beethovenfest Bonn

パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィル in ボン・ベートーヴェンフェスト

# ベートーヴェン・プロジェクトの 集大成《フィデリオ》

取材・文=中 東生  
Text=Shinobu Naka  
Photo=Jörg Sarbach

### 趣向を凝らした演出

パーヴォ・ヤルヴィ率いるドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団は、2004年にベートーヴェンフェスト・デビューを飾って以来、ベートーヴェンを誇るボンの聴衆に支持され続けてきた。今年と同フィルのベートーヴェン・ツイクルスの集大成として、ブレーメン音楽祭、ベートーヴェン音楽祭と横浜みなとみらいホールが共同制作した《フィデリオ》が9月27日に披露された。

ベートーヴェンらしいのに新鮮な楽想の「序曲」を楽しんだのも束の間、客席の後方から叫びながら登場したのは、「オペラには本来ない後年のロココ役」を演じた人気俳優のウルリッヒ・トゥクトール。

ベートーヴェン・ツイクルス公演で2006年の日本を圧巻させたパーヴォ&ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団が、再びベートーヴェン・プロで日本上陸する。彼らが数年来取り組んできたベートーヴェン・プロジェクトの集大成であり、ブレーメン音楽祭、ボン・ベートーヴェンフェスト、横浜みなとみらいホールの共同制作となるオペラ《フィデリオ》演奏会形式公演は、その最注目企画だ。11月の来日公演に先駆けて9月27日に行われたボン・ベートーヴェン・フェスト公演をレポートする。



客席を魅了したブルクハルト・フリッツ(フロレスタン)

## 日本公演が待たれる フリッツの名唱

当時の状況を回想している後年のロッコが劇の進行を助けるという設定だ。ヤルヴィも立ち会いのもとにブレームン、ボン両音楽祭の面々が創り上げた演出だというが、マイクの音響が歌手の肉声に比べて大きく、音楽の余韻も消し去ってしまったので、個人的には邪魔に感じられた。日本では字幕をつけるというので、音量を抑えられるだろう。

に入らないセミステージ形式のオペラでは声の線が細すぎる(日本では別キャスト)。ユリアン・プレガルディエンは魅力的なヤキーノで、マルツェリーネが彼ではなくフィデリオを選ぶことが信じられないほどだ。レオノーレは予定されていたエミリー・マギーが病気のため、ブレームン音楽祭から代役のセシル・ペリンが歌っているが、日本ではマギーが歌うというので楽しんだ。ペリンも、有名な四重唱などでみせた弱声と豊かな声の両方を持ち合わせた逸材だが、声にビュアな響きがないのと、ドイツ的でないところが残念だった。ロッコもピツァアも合

格点ではあるが、「感動」を得るには休憩後まで待たなければならなかった。

第2幕は始めからオケが心に響き、涙が出るような素晴らしい情景を創り上げた。そこに歌い始めたフロレストンのなんと素晴らし

かったこと……。ブルクハルト・フリッツは、オケの前に座って歌ってもオケを飛び越えていく声で、太くてもバリトン寄りの響きにならないピンと張った正真正銘のテノールだ。弱声でもファルセットに逃げない高度なテクニクは、声楽を知り尽くしていたとは言えないペートーヴェンの、この難しいオペラに瑞々しい情熱を与える。そして何よりも、ペートーヴェンの創造の原動力であったと言っても過言ではない「フライハイト(自由)を高らかに歌い上げる時のドイツ的パワーが輝かしかった。ペートーヴェンも彼のようなテノールと出会えていたら、テノールの出番の多い第2作目のオペラも手掛けたのではないかと思わされる。ドイツ室内合唱団も素晴らしかった。

## 会場全体を巻き込んだ ファイナーレ

一貫して暗い照明が気になっていたが、ファイナーレでは客電も入れ、会場全体が自由を喜ぶという趣向で「ドイツの国民的オペラ」といわれる《フィデリオ》

### ■来日公演情報

#### 【バーヴォ・ヤルヴィ指揮バリ管弦楽団】

◎プログラムA ドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》、ラヴェル「左手のためのピアノ協奏曲」(ジャン=フレデリック・ヌーブルジェep)、プロコフィエフ「交響曲第5番」

■《日時》11月3日15時(会場・問)兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール0798-68-0255

■《日時》11月4日15時(会場)東京文化会館(問)都民劇場03-3572-4311

◎プログラムB シベリウス「カレリア」組曲、リスト「ピアノ協奏曲第2番」(ジャン=フレデリック・ヌーブルジェep)、サン=サーンス「交響曲第3番《オルガン付》」(ティエリー・エスケシュorg)

■《日時》11月2日15時(会場・問)京都コンサートホール075-711-3090

■《日時》11月5日19時(会場)サントリーホール(問)Kajimoto0570-06-9960

■《日時》11月7日19時(会場・問)横浜みなとみらいホール045-682-2000

■《日時》11月8日19時(会場・問)ハーモニーホールふくい(福井県立音楽堂)0776-38-8282

■《日時》11月9日19時(会場)倉敷市民会館(問)くらしきコンサート086-422-2140

#### 【バーヴォ・ヤルヴィ指揮

#### ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団】

◎《フィデリオ》(コンサート形式・字幕付)

■《日時》11月28日19時、30日15時(会場・問)横浜みなとみらいホール045-682-2000(出演)ブルクハルト・フリッツ(フロレスタン)、エミリー・マギー(レオノーレ/フィデリオ)、ディミトリー・イヴァシュチェンコ(看守長ロッコ)、クリスティーナ・ランドシャーマー(マルツェリーネ)、ユリアン・プレガルディエン(ヤキーノ)、ファルク・シュトゥックマン(刑務所長ドン・ピツァア)、デトレフ・ロート(ドン・フェルナンド)、東京音楽大学合唱団

◎ペートーヴェン「《フィデリオ》序曲」【交響曲第4番】「第3番《英雄》」

■《日時》11月21日19時(会場・問)札幌コンサートホールKitara011-520-1234

■《日時》11月23日15時(会場・問)三井住友海上じらかわホール052-222-7117

■《日時》11月29日19時(会場)武蔵野市民文化会館(問)武蔵野文化事業団0422-54-2011



沸き起こる喝采に応えるカーテンコール

らしい幕切れに、大喝采が沸き起こった。最後にはスタンディング・オヴエイションとなり、帰る気配を見せない観客にオケ全員がお辞儀をして退場したが、このような反応は珍しいと関係者は語る。ペートーヴェンの本場でここまで認められた《フィデリオ》を日本で11月に聴けるのは大変楽しみだ。